



電源ユニット品番	タイプ	適合灯具	塩害仕様
NND29002	400-460V・2kW タイプ	NNY24752 NNY24753	耐塩害仕様

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい必ずC種（特別第三種）接地工事をする。不備があると、感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実にこなす。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- 浴室など湿気が多い場所、振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、クレーン設置場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地、塩素を使用する屋内プール等、粉塵の多い場所では使用しない。器具の落下や絶縁不良による感電の原因となります。
- 密閉された空間では使用しない。発煙・発火及び器具短寿命の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の取付けには必ず平座金、ばね座金、六角ナット2個を使用する。取付けに不備があると器具落下の原因となります。
- 電源ユニットはケーブルグランドが下側になるように設置する。指定外の方向に取付けると浸水による感電・火災の原因となります。
- 電源ユニットの接続部カバーを開けたまま放置しない。感電・火災の原因となります。
- 落下防止ワイヤーは取付方法にしたがい、確実に取付ける。取付けに不備があると器具落下の原因となります。
- フィルターには触れない。フィルターに変形・緩みがおこると、浸水による感電・火災の原因となります。
- 電源ユニットを接続する場合は150mm以上離して設置する。過熱による発火の原因となります。
- 草木で電源ユニットが覆われるような場所では使用しない。電源ユニット損傷による器具破損、火災の原因となります。

注意

- この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。落下・感電・火災の原因となります。
- 風速60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。器具落下の原因となります。
- 電源ケーブルは600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル又は600V二種EPゴム絶縁クロロブレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。
灯具と電源ユニット間：φ10.5～φ14.5（2.0mm²、5芯線又は6芯線）
電源ユニットの電源・送り用：φ10.5～φ14.5（2.0～3.5mm²、3芯線）
指定外ケーブルを使用すると浸水による感電・火災の原因となります。
- 調光ケーブル（シールド付）はPC224P（Proplex製）か同等以上の性能を有するものをご使用ください。（φ6.5～φ10.5mm）（3芯線又は4芯線）
指定外ケーブルを使用すると浸水による感電・火災の原因となります。
- 灯具と電源ユニット間のケーブル長さは50m以下としてください。電圧低下による不点の原因となります。
- 周囲温度は、-20～35℃で使用してください。日中の一時的な点灯は15分以内にとってください。
器具の短寿命や不点、火災の原因となります。
- 積雪地域で使用する場合、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 冠水の恐れのある場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。つらら落下による怪我の原因となります。
- スイッチを接地側に取付けた場合、ノイズにより消灯後もLEDが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをお勧めします。）
- 高周波対応型漏電ブレーカーを使用してください。
漏洩電流は最大2.0mA流れます。適切なブレーカーを選定ください。
旧タイプの漏電ブレーカーを使用の場合、ブレーカーがトリップする場合があります。また、使用するブレーカーの感度電流設定値に注意してください。ブレーカーは必ず両切りとなるよう接続してください。
- 器具間で灯具と電源ユニット間のケーブル長さに極端な差があると、調光下限で同じ調光レベルでも点灯のバラツキが出る可能性があります。
- 調光信号線をこれ以上送り配線しない末端の器具には、かならず終端抵抗を取り付けてください。点灯動作不良の原因となります。
- 調光信号線のシールドは1か所で制御盤に接地してください。誤動作の原因となります。
- 器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがの原因となります。

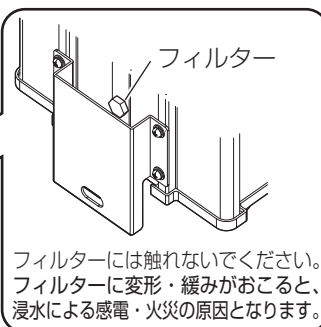
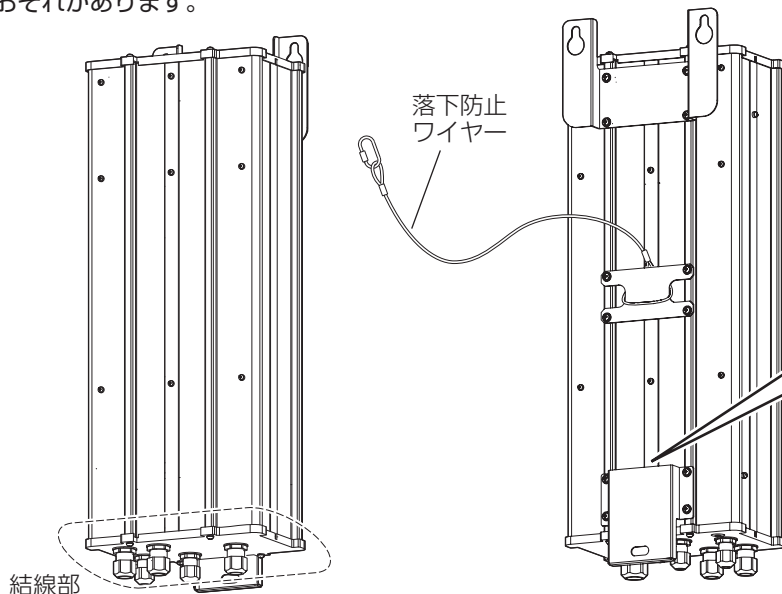
電源ユニットの設置・取付方法

- 電源ユニットの取付け取外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。



警告

施工は、施工説明書にしたがい、**確実に**行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



フィルターには触れないでください。フィルターに変形・緩みがおこると、浸水による感電・火災の原因となります。

付属品

防水パッキン(大)
(穴有り)



・電源を送る場合に使用します。
(次ページ参照)

防水パッキン(小)
(穴有り)



・調光信号を送る場合に使用します。
(次ページ参照)

終端抵抗



・DMX信号接続の終端の器具に使用します。
(5ページ参照)

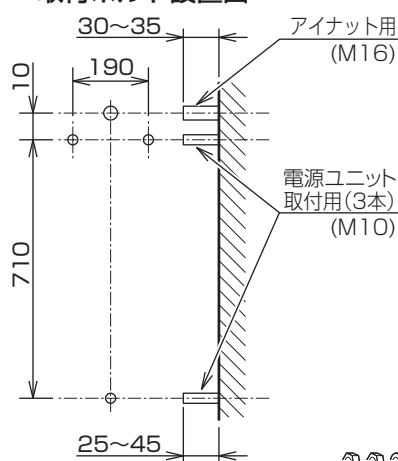
1 取付前の確認

- 器具質量 (15.5kg) および風圧荷重に耐えるように、取付ボルト: M10 (3本)、M16 (1本) を用意してください。

2 電源ユニットの取付

- 電源ユニットの固定は、平座金(別途)、ばね座金(別途)、六角ナット2個(別途)を使用し、取付ボルト: M10 (別途) 3本にダブルナットにて確実に締め付ける。
(推奨締め付トルク M10: 24N・m)
- 電源ユニットは結線部が下側になるようにして設置してください。
不備があると落下、浸水による感電の原因となります。

取付ボルト設置図



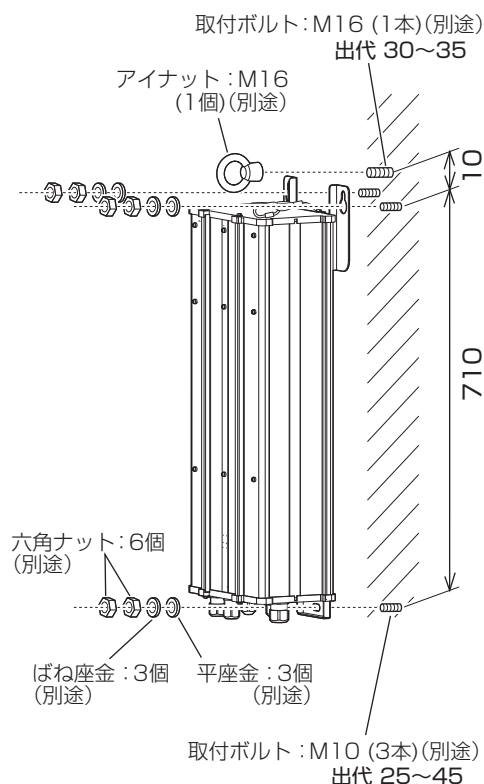
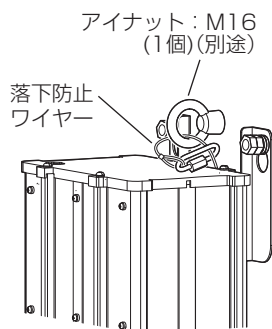
3 落下防止ワイヤーの固定

- 取付ボルト: M16(別途)に、アイナット: M16(別途)を確実に締め付ける。
- 落下防止ワイヤーをアイナット: M16に通し、確実に固定する。
不備があると落下の原因となります。



警告

落下防止ワイヤーを固定する際は、器具取付位置から上方にアイナットを設置し、ワイヤーがたるまないように施工する。
不備があると落下の原因となります。



※電源線の接続・灯具との接続については、
(電源線・灯具接続線・調光信号線の接続) (次ページ)
をご参照ください。

電源線・灯具接続線・調光信号線の接続

●以下の手順で電源ユニットに 電源線・灯具接続線・調光信号線を接続してください。

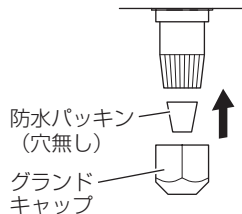
- ・電源線（別途）の先端の外被覆を剥く。(右図参照)
適合ケーブル：φ10.5～φ14.5 (2.0～3.5mm²、3芯線)
(電源を送る場合、送り線(別途)も同様に加工してください。)
- ・灯具接続線（別途）の先端の外被覆を剥く。(右図参照)
適合ケーブル：φ10.5～φ14.5 (2.0mm²、5芯線又は6芯線^{※1})
※1：6芯線を使用する場合は、1本を切断し、
絶縁テープ等で確実に絶縁処理してください。
- ・調光信号線（シールド付・別途）の先端の外被覆を剥く。(右図参照)
適合ケーブル：φ6.5～φ10.5mm (PC224P相当、3芯線又は4芯線^{※2})
※2：4芯線を使用する場合は、1本を切断し、
絶縁テープ等で確実に絶縁処理してください。
(調光信号を送る場合、送り線(別途)も同様に加工してください。)

- ・接続部カバー用ネジ（抜止め付）4箇所をゆるめ、
接続部カバーを取外す。
(ゆるめすぎると抜止めが外れます。)

- ・グランドキャップA(電源線用・灯具接続線用)、
グランドキャップB(調光信号線用)を取外し、
電源線・灯具接続線・調光信号線を、それぞれの
グランドキャップとケーブルグランドに通す。

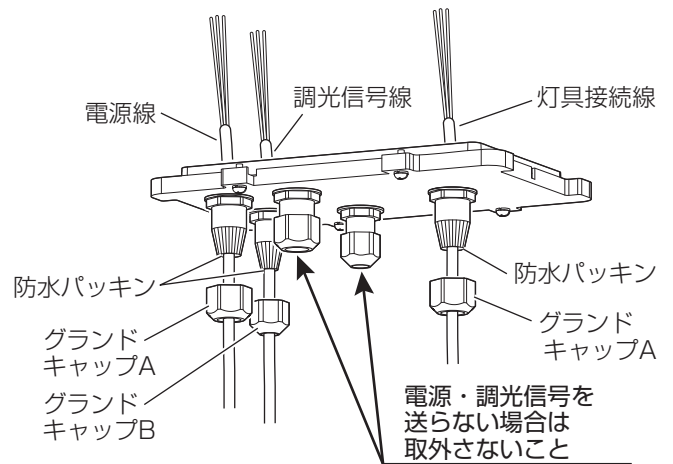
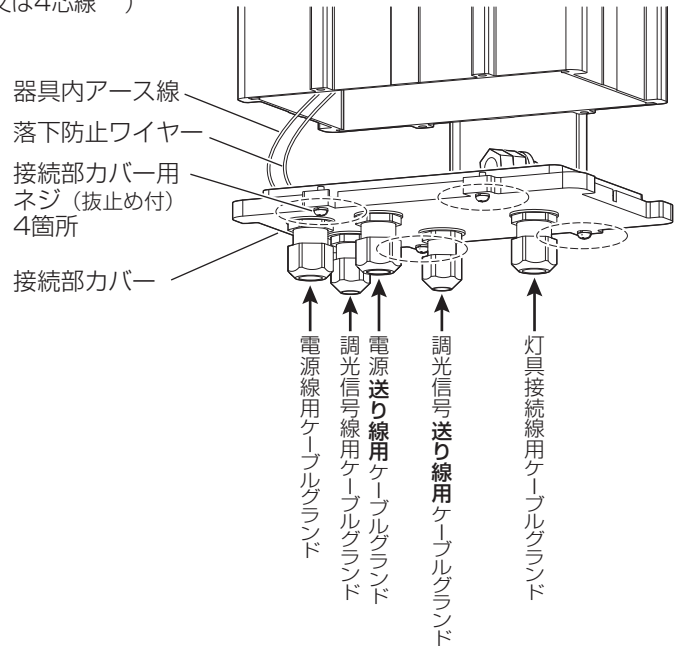
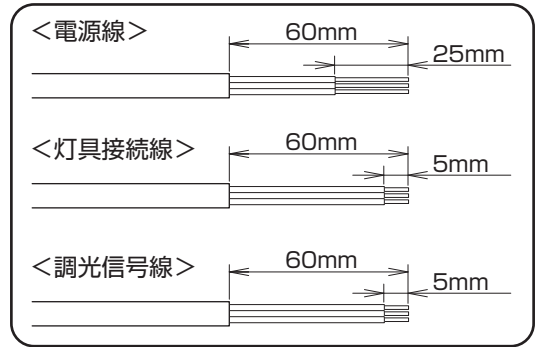
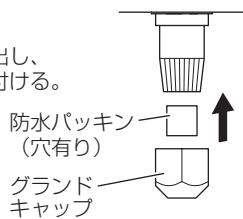
- ※ 内部の防水パッキンは
取外さないでください。
取外した場合は必ず
付け直してください。

(防水パッキン(穴無し)は取付の
方向性があります。(右図参照)
逆向けに取り付けた場合浸水の
原因となります。)

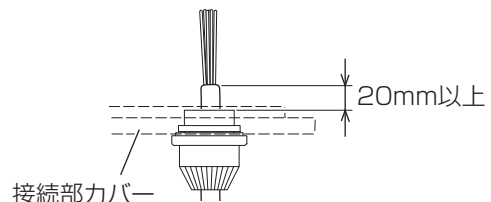


電源を送る場合、調光信号を送る場合、
それぞれの送り用ケーブルグランド内の
防水パッキンを交換してください。

- ①送り用ケーブルグランドから
グランドキャップを取外す。
- ②内部の防水パッキン(穴無し)を取出し、
付属の防水パッキン(穴有り)を取付ける。
- ③送り線を、
グランドキャップと
ケーブルグランドに通す。

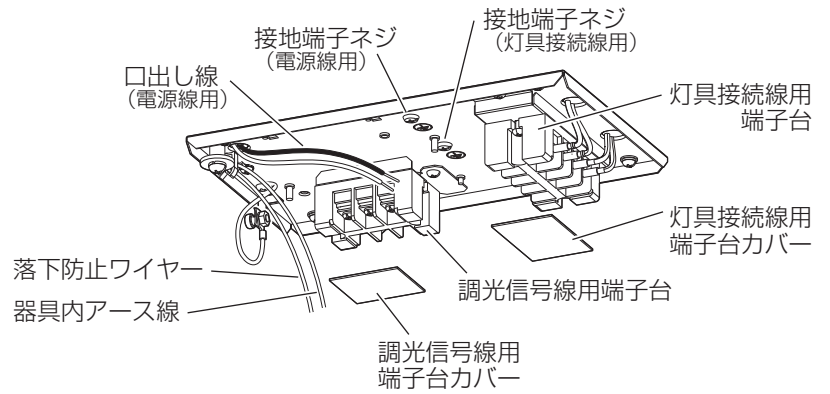


- ・電源線・灯具接続線・調光信号線の外被覆が
ケーブルグランドから20mm以上になるように整える。



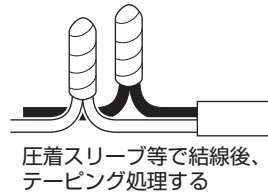
電源線・灯具接続線・調光信号線の接続 (つづき)

- ・ 灯具接続線用端子台と調光信号線用端子台からそれぞれの端子台カバーを取外す。



<電源線の接続>

- ・ 器具口出し線に電源線を接続する。
- ・ 器具口出し線部に水がかからないように施工を行う。
- ・ 接続部の絶縁、防水処理（融着テーピング等）を確実に行う。
- ・ C種（特別第三種）接地工事が必要。
アース線を接地端子ネジ（電源線用）に確実に接続する。
- ・ 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。

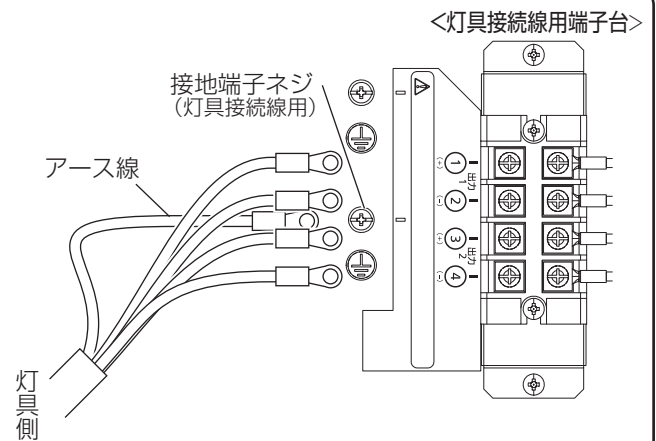


警告

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

<灯具接続線の接続>

- ・ 灯具接続線(5本)に、絶縁被覆付R型圧着端子（M4用）(別途)を取付ける。
・ 1本はアース線として使用してください。
- ・ 灯具接続線を灯具接続線用端子台に確実に接続する。
(推奨締付トルク M4：1.2N・m)
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- ・ アース線を接地端子ネジ（灯具接続線用）にC種（特別第三種）接地工事を行う。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



- ・ 灯具側と電源側の番号を合わせて接続してください。
結線を間違えた場合、不点または短寿命になります。

<配線のチェックにご使用ください>

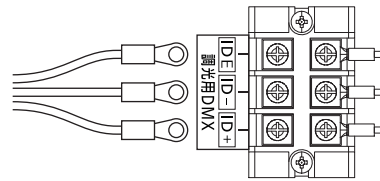
端子番号	①	②	③	④
配線色	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

電源線・灯具接続線・調光信号線の接続 (つづき)

<調光信号線の接続>

- ・調光信号線 (3本) に、絶縁被覆付R型圧着端子 (M4用) (別途) を取付ける。
- ・調光信号線を調光信号線用端子台に確実に接続する。
(推奨締付トルク M4 : 1.2N・m)
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- ・入力用と送り用の調光信号線のシールドを絶縁スリーブ等で確実に接続する。
調光信号線のシールドをこの器具のアース端子、器具の外郭等に接続すると誤動作の原因となります。

<調光信号線用端子台>

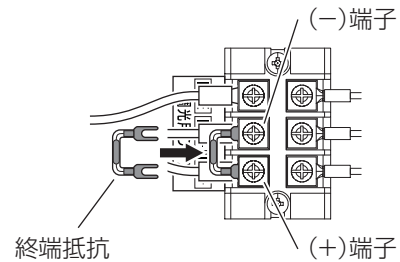


調光信号線 終端抵抗の接続

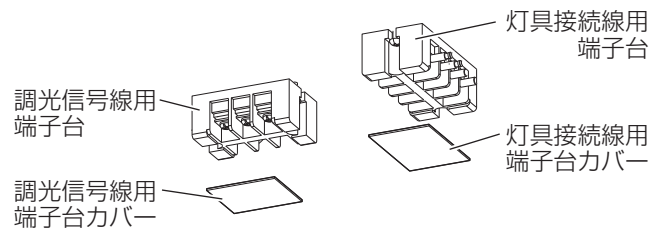
DMX信号接続の終端の器具の調光信号線用端子台に付属の終端抵抗を接続してください。

終端抵抗を接続しない場合、調光動作不安定の原因となります。

- ・終端抵抗をコの字に曲げ、調光信号線用端子台の(-)(+)端子に接続する。



- ・灯具接続線用端子台と調光信号線用端子台にそれぞれの端子台カバーを確実に被せる。
不備があると、感電の原因となります。



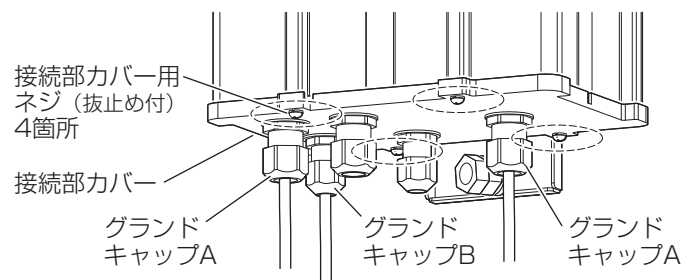
- ・外被覆が電源ユニット内に20mm以上入るように整えながら、グラウンドキャップA、グラウンドキャップBを確実に締め込み固定する。

(推奨締付トルク
グラウンドキャップA : 3.2N・m
グラウンドキャップB : 2.7N・m)

取付が不完全な場合は浸水による感電の原因になります。

- ・電源ユニットに接続部カバーを合わせ、接続部カバー用ネジ4箇所を確実に締め込み固定する。
(推奨締付トルク2.1N・m)

取付が不完全な場合は浸水による感電の原因になります。



調光機能について

●RDM機能

RDM (双方向通信) 機能により、リモートで器具のDMXアドレスの設定や通電時間・点灯時間等をモニタリングすることが可能です。

※本機能を使用する際は、RDM対応のモニタリングシステムが必要です。

●信号無時の点灯・DMX遮断時の点灯レベルのリモート記憶機能

DMX512信号の「DMX511CH」と「DMX512CH」の調光レベルを用いて、レベルを設定(更新)することができます。

※本機能を使用する際には、DMX出力コントローラー(DMXチャンネルを512個有するものに限る)が必要です。

本機能において、下記を定義しています。

- ・記憶不可状態：設定操作を行った場合に、レベルが更新されない状態
- ・記憶可能状態：設定操作を行った場合に、レベルが更新される状態

※電源ON時は、記憶不可状態で起動します。

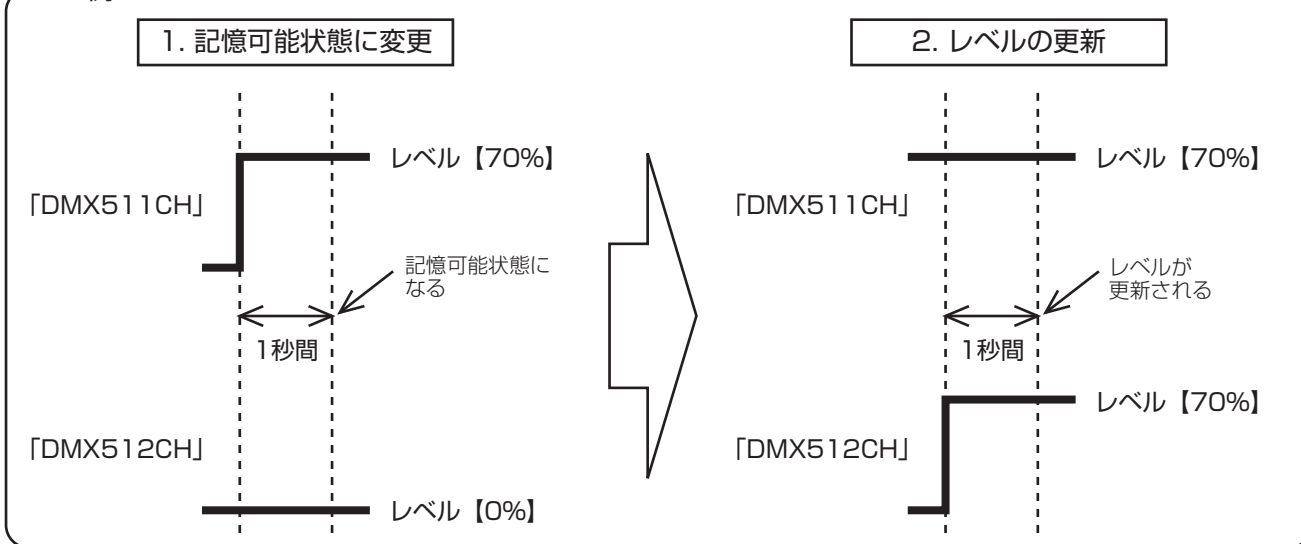
○レベルをリモートで設定

1. 記憶可能状態に変更
「DMX511CH」のレベルが「60%~80%」、
「DMX512CH」のレベルが「60%~80%以外」
の状態が1秒以上経過させてください。
記憶可能状態に変更されます。
2. レベルの更新
「DMX511CH」のレベルが「60%~80%」、
「DMX512CH」のレベルが「60%~80%」
の状態が1秒以上経過させてください。
レベルが更新されます。(現在の出力レベルが記憶)
その後、記憶不可状態となり、1秒間消灯します。

出荷状態の設定

- ・信号無時の点灯 : フル点灯
- ・DMXアドレス : 1
- ・DMX遮断時の動作 : 信号無時の点灯レベル

< 例 >



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品の交換をしない。発火・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因となります。
- 積雪地域で使用する場合、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
器具破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。
つららの除去を行ってください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないで下さい。
発火によるやけどの恐れがあります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。
発火の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスは異なります。
ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。
又、設置して10年^(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
点検交換してください。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

- ・保証について…… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品…… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- ・器具の清掃について
汚れを落とす場合は、石けん水に浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンで拭かないでください。変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

必ず電源を切ってから
行ってください。
感電の原因となります。

■定格

電源ユニット品番	定格電圧	入力電流	消費電力	周波数	二次側電流	
NND29002	AC400V	3.81A	1494W	50/60Hz	2.8A×2	絶縁型
	AC460V	3.34A	1491W		2.8A×2	

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441(フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]

KE1118-070422